

令和3年度当初予算・令和2年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：教育総務費，小学校費，中学校費，高等学校費，特別支援学校費，社会教育費，保健体育費 目：事務局費，教育指導費，教職員費，高等学校総務費，高等学校管理費，特別支援学校費，文化施設費，保健体育総務費
担当課	学校経営戦略推進課，学校教育情報化推進課，乳幼児教育支援センター，義務教育指導課，個別最適な学び担当，高校教育指導課，豊かな心と身体育成課，特別支援教育課，生涯学習課
事業名	教育委員会新型コロナウイルス感染症対応事業（一部国庫）【一部新規】

目的

新型コロナウイルス感染症の拡大による様々な課題に迅速かつ適切に対処するため，国の「新型コロナウイルス感染症対策」等を活用し，対応策を実施する。

事業説明

対象者

県立学校の児童生徒及び教職員，市町及び幼稚園（幼稚園型認定こども園を含む）を設置する国立大学法人

事業内容

（単位：千円）

内 容	要求額	
	令和2年度 2月補正予算	令和3年度 当初予算
学習保障に必要な人的体制強化事業	—	187,910
通学対策費	—	619,329
新型コロナウイルス感染症対策費	—	14,963
感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	214,000	—
教育支援体制整備事業【一部新規】	12,500	—
	24,385	—
合 計	250,885	822,202

成果目標

- 事業目標：新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び幼児児童生徒の学びの保障等に必要環境の確保

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳								
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源	
査定額	令和3年度当初予算	822,202	802,887	0	0	0	0	19,315	0	0
	令和2年度2月補正予算	250,885	250,885	0	0	0	0	0	0	0
要求額	令和3年度当初予算	822,202	802,887	0	0	0	0	19,315	0	0
	令和2年度2月補正予算	250,885	250,885	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度当初予算額		0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (R2 : 107,000千円, R3 : 453,275千円)

査定結果

要求どおり

令和2年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：社会教育費 目：文化施設費
担当課	文化財課
事業名	県立文化施設の感染症拡大防止対策事業（国庫）

目的

歴史民俗資料館、歴史博物館及び頼山陽史跡資料館において、入館者の体温を把握することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するとともに、入館のスムーズ化を図る。

事業説明

対象者

県民（歴史民俗資料館、歴史博物館及び頼山陽史跡資料館利用者）

事業内容

歴史民俗資料館、歴史博物館及び頼山陽史跡資料館の入口に発熱者把握のための体温測定機器を設置する。

（単位：千円）

内 容	2月補正 要求額
歴史民俗資料館、歴史博物館及び頼山陽史跡資料館における感染症防止対策 ○赤外線体温測定ユニットの設置 （歴史民俗資料館、歴史博物館及び頼山陽史跡資料館）	1,371

成果目標

- 事業目標
新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県立歴史系博物館における安心・安全な施設環境の確保

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	1,371	1,371	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,371	1,371	0	0	0	0	0	0	0
現計予算額	5,472	5,472	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（687千円）

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算・令和2年度2月補正

支出科目	款：教育費	項：教育総務費	目：教育指導費
担当課	学校教育情報化推進課		
事業名	「GIGAスクール構想の実現」に向けたICT基盤整備事業（一部国庫）		

目的

デジタル機器を活用した効果的な教育を実現するため、学校における高速大容量のネットワーク環境（校内通信ネットワーク）の整備を推進するとともに、県立学校予備用コンピュータを整備する。

事業説明

対象者

県立中学校，高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教員

事業内容

国の「GIGAスクール構想」を踏まえた校内通信ネットワーク整備に合わせ、デジタル機器を授業で円滑に利用するため、インターネット回線整備及びネットワーク機器の維持管理等を実施する。

また、国庫補助金を活用することにより、今後県立学校において予備機として必要となるコンピュータを前倒して整備する。

（単位：千円）

内 容	要求額	
	令和2年度 2月補正予算	令和3年度 当初予算
通信回線整備 ○インターネット回線利用料 ○ホームルータ等利用料	—	91,682
校内ネットワーク 環境の維持管理 ○ネットワーク機器保守料	—	18,519
高等学校段階のコン ピュータ整備 ○生徒貸出用コンピュータ（予備機）の購入及び初期設定費用	37,060	—
合 計	37,060	110,201

成果目標

○ 事業目標

普通教室の無線LAN整備率

（R1実績） 高等学校 41.6% 特別支援学校 26.3%

（R3目標） 高等学校 100% 特別支援学校 100%

生徒一人1台コンピュータの導入

（R2実績） 高等学校 35校 特別支援学校 3校

（R3目標） 高等学校 80校（全校導入） 特別支援学校 17校（全校導入）

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳								
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源	
査定額	令和3年度 当初予算	110,201	0	0	0	0	0	0	0	110,201
	令和2年度 2月補正予算	37,060	37,060	0	0	0	0	0	0	0
要求額	令和3年度 当初予算	110,201	0	0	0	0	0	0	0	110,201
	令和2年度 2月補正予算	37,060	37,060	0	0	0	0	0	0	0
前 当 初 予 算 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（4,885千円）

査定結果

要求どおり

令和2年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：高等学校費 目：高等学校管理費
担当課	教育支援推進課
事業名	公立高等学校等奨学給付事業（国庫）

目的

新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮している世帯の高校生等に必要な教育費を追加支援することにより、教育機会の確保を図る。

事業説明

対象者

非課税世帯（生活保護世帯除く）の高校生等の保護者

事業内容

(単位：千円)

内 容		2月補正 要求額
高校生等奨学給付金	○非課税世帯（生活保護世帯除く）の高校生等の保護者に対し、上乗せ額(26,100円又は12,000円)を追加支給 ※生活保護世帯については、生活保護費により実費支給されるため対象外	98,223

成果目標

- 事業目標：低所得世帯への支援による高校生等の教育機会の確保

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	98,223	98,223	0	0	0	0	0	0	0
要求額	98,223	98,223	0	0	0	0	0	0	0
現計予算額	682,182	227,393	0	0	0	0	0	0	454,789

査定結果

要求どおり

令和2年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：教育総務費，高等学校費 目：教育指導費，高等学校管理費
担当課	施設課，学校経営戦略推進課，高校教育指導課
事業名	デジタル化に対応した産業教育設備整備事業（一部国庫）【新規】

目的

Society5.0時代における産業を支える職業人を育成するため，県立の専門高校及び広島市立広島みらい創生高等学校等においてデジタル化に対応した産業教育設備の整備を行う。

事業説明

対象者

職業教育を主とする専門学科等を設置する県立高等学校及び広島市立広島みらい創生高等学校

事業内容

		(単位：千円)
内 容		2月補正 要求額
産業教育設備の整備	○県立の専門高校等において，デジタル化に対応した産業教育設備を整備 ・3Dプリンタ，自動旋盤等の設備を農業科，工業科，家庭科，看護科，福祉科，総合学科へ整備	2,700,141
	○広島市立広島みらい創生高等学校において，デジタル化に対応した産業教育設備を整備 ・3Dプリンタ，二次元レーザー加工機の整備	2,667
合 計		2,702,808

成果目標

- 事業目標
・ Society5.0時代における産業を支える職業人の育成

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	2,702,808	900,017	0	0	0	0	0	1,798,600	4,191
要求額	2,702,808	900,017	0	0	0	0	0	1,798,600	4,191
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

デジタル化に対応した産業教育設備整備事業

令和3年1月 教育委員会

1 事業の目的

Society5.0 時代における産業を支える職業人を育成するため、県立の専門高校及び広島市立広島みらい創生高等学校等においてデジタル化に対応した産業教育設備の整備を行う。

2 背景

- (1) 科学技術の進展、グローバル化、産業構造の変化等に伴い、必要とされる専門的な知識・技術等も変化するとともに高度化しており、その変化に対応した職業人材の育成が求められている。
- (2) 令和4年度から年次進行の実施となる新高等学校学習指導要領においては、とりわけ職業教育を主とする専門学科について、従来通り実験実習に配当する授業時数を十分確保することとされたほか、職業に関する教科・科目の目標に実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して資質・能力の育成を目指すことが新たに明記されたところであり、その趣旨の実現には、職業教育のための施設・設備の整備が重要である。

3 現状・課題

- (1) Society5.0 時代の到来により、高度化する産業の発展を担う人材育成をしなければならない一方、専門的な知識・技術等の定着を図る教育内容に対応した設備が不十分である。
- (2) 県立の専門高校及び広島市立広島みらい創生高等学校等に通う生徒の卒業後の進路については、産業現場への就職等が見込まれるが、高度化した設備を導入する企業等が増えている中、その設備を使用するための専門的な知識・技術等の定着を図る教育が不十分である。

4 国の令和2年度第3次補正予算の概要

「スマート専門高校」の実現（デジタル化対応産業教育装置の整備）：274 億円

[対象学校]：職業教育を主とする専門学科等を設置している高等学校

[対象経費]：デジタル化対応産業教育装置の整備に必要な経費

（施設に設置・据付をするための工事費・調整費を含む。）

[財源内訳]：国庫 1 / 3，補正予算債 2 / 3（償還金に対する交付税措置：50%）

5 取組の方向性

国の「令和2年度第3次補正予算」において、今回限りの特別な措置として示された「スマート専門高校」の実現（デジタル化対応産業教育装置の整備）事業を活用し、Society5.0 時代における産業を支える職業人の育成を目的に、産業教育設備を整備する。

6 2月補正要求額

（単位：千円）

区分	要求額
県立の専門高校等	2,700,141
広島みらい創生高校	2,667
合計	2,702,808

令和3年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費，高等学校費，特別支援学校費 目：教育指導費，高等学校管理費，特別支援学校費
担当課	学校経営戦略推進課，学校教育情報化推進課，義務教育指導課，個別最適な学び担当，高校教育指導課
事業名	「学びの変革」推進事業（一部国庫）【一部新規】

目的

多様な学習機会と場の提供等を通じた「個別最適な学び」を推進するとともに、デジタル技術の急速な進展を踏まえ、あらゆる教育活動において、日常的にデジタル機器等を活用する環境を整え、情報モラルを含めた子供たちのデジタルリテラシーの向上を図るほか、デジタル技術の効果的な活用等を通じた、子供たちの主体的な学びを促す教育活動の充実や、グローバルマインドの涵養を図る教育環境の整備などにより、「学びの変革」の更なる加速に取り組む。

事業説明

対象者

児童生徒，教員

事業内容

		(単位：千円)
	内 容	要求額
カリキュラムの質的向上	○学科等の特色を生かしたカリキュラムの開発【新規】 ・生徒の深い学びにつなげていくため，学校全体で組織的に学科等の特色を生かしたカリキュラムを開発	19,010
	○カリキュラム・マネジメントの充実に向けた研修【一部新規】 ・学校全体でカリキュラム・マネジメントの効果的・効率的な推進を図るため，管理職，主任等を有機的に結び付ける仕組みを構築	10,737
	○児童生徒の「主体的な学び」を促すカリキュラムの開発【新規】 ・小学校と中学校が連携し，プロジェクト型学習を取り入れた探求的な学習に係るカリキュラム等を開発	627
探究的な学びに必要な学習環境の充実	○デジタルを基盤とする環境整備 ・生徒一人1台コンピュータを保護者負担により導入することと併せて，学校で使用する周辺機器の整備や，活用のための支援及び研修を実施	248,502
	○中山間地域の学校における遠隔教育の推進【新規】 ・デジタル技術を活用した遠隔教育システムによる学習環境を中山間地域等に位置する県立高等学校に整備することにより，探究的な学びの実現等につながる教育活動を展開 ・中山間地域の小規模校等3校と都市部の学校1校の4校からなるコンソーシアムを3つ構築（3地域・12校）	43,886
	○WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業【文部科学省委託】 ・文部科学省の委託事業として，県立高等学校における探究的な学びを高度化していくため，大学，企業等との連携・協働の在り方やカリキュラムについて研究等を実施	9,000
	○WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業【Stanford e-Hiroshima】 ・スタンフォード大学と連携した遠隔講座を開設し，より高度な学びの機会を提供	4,000
	○「主体的な学び」の充実に向けた研修内容の再構築【新規】 ・「本質的な問い」を設定する力や生徒をファンリテートする力・評価する力など，主体的な学びに必要な資質・能力を習得する研修を実施	8,979
資質能力の評価方法の充実	○資質・能力定着状況の多面的評価の充実【新規】 ・生徒の資質・能力の定着状況を客観的に評価する手法を研究	11,872
個別最適な学びの促進	○個別最適な学びに関する実証研究事業等 ・児童生徒一人一人の学習進度，能力，関心等に応じた個別最適な学びの実現に向けた実証研究を行うとともに，個別最適な学びに関する対話型・実践型の教職員研修を実施	14,706
主体的な学びを促す授業イメージの共有	○授業動画コンテンツの制作・配信 ・全ての教員が授業改善の参考となる授業動画を制作	5,240
合 計		376,559

成果目標

- ワーク目標
 - ・ 8割以上の教員が主体的な学びを実践している学校の割合
(R元実績) 小:55.2% 中:51.9% 高:41.5% (R3目標) 小:70% 中:68% 高:65% (R7目標) 小:100% 中:100% 高:100%
 - ・ カリキュラム・マネジメントが組織的に実践できている高等学校の割合
(R元実績) 92.5% (R3目標) 97.0% (R7目標) 100%
 - ・ 課題発見・解決学習に取り組んでいる学校の割合
(R元実績) 小:94.4% 中:93.3% (R3目標) 小:100% 中:100% (R7目標) 小:100% 中:100%

事業費 (単位:千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	376,559	37,750	0	0	0	0	0	0	338,809
要求額	376,559	37,750	0	0	0	0	0	0	338,809
前年度当初予算額	213,735	10,000	0	0	0	0	0	0	203,735

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費
担当課	乳幼児教育支援センター・生涯学習課
事業名	「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト（一部国庫）

目的

全体的な乳幼児期の教育・保育の質の向上に向け、「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに基づいた家庭教育や教育・保育施設への支援などの取組を実施し、本県が目指す乳幼児の姿の実現を図る。

事業説明

対象者

乳幼児，保護者，教育・保育施設の教員・保育士等

事業内容

(単位：千円)

内 容		要求額
教育・保育内容の充実等	○幼児教育アドバイザー訪問事業の実施 ○園所等の教育・保育の質の向上のための研修の実施 ○乳児保育を通じた5つの力の育成に係る研究，開発 ○園所等における家庭教育支援の充実 ○幼保小連携・接続の推進，ハンドブックの作成	28,084
家庭教育支援の充実	○家庭での取組に関する教材の開発，普及・園所等を通じた啓発資料の配布による家庭教育支援の充実 ○親子の遊びの場の提供，普及 ○地域による親子支援の推進	7,348
乳幼児教育支援センターの体制整備	○専門職員の育成・確保 ○各種会議等による教育・保育の質の向上のための施策検討	33,275
合 計		68,707

成果目標

- ワーク目標：自己評価を実施している園・所の割合（R1実績）85.0%（R3目標）86.0%
「遊びの中に学びがある」ことについて，理解している保護者の割合（R3目標）R2調査を踏まえ設定
- 事業目標：目指す乳幼児の姿を意識した指導計画を作成している園・所の割合（R1実績）87.1%（R3目標）前年度比増

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	68,707	5,461	0	0	0	0	0	0	63,246
要求額	68,707	5,461	0	0	0	0	0	0	63,246
前年度当初予算額	69,172	627	0	0	0	0	0	0	68,545

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費，中学校費，高等学校費，社会教育費 目：教育指導費，教職員費，高等学校総務費，社会教育総務費 款：高等学校等奨学金 項：高等学校等奨学金 目：高等学校等奨学金
担当課	教育支援推進課，乳幼児教育支援センター，義務教育指導課，個別最適な学び担当，高校教育指導課，豊かな心と体育成課，特別支援教育課，生涯学習課
事業名	学びのセーフティネット構築事業（一部国庫）

目的

貧困の世代間連鎖を断ち切るため，家庭の経済的事情等に関わらず，全ての子供の能力と可能性を最大限高められる教育を実現する。

事業説明

対象者

乳幼児，児童生徒，保護者等

事業内容

内 容		(単位：千円) 要求額
学力向上対策の強化	○小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業（22小学校）	3,936
相談支援体制等の強化	○スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置 ・中学校区：40校区（+8校区），高等学校：10校（+2校）	91,605
	○子供の居場所づくり ・放課後子供教室，地域未来塾等の実施	58,567
	○不登校等児童生徒対策 ・「東大ROCKET in 広島」の実施 ・関係団体等との連携について検討	6,104
経済的支援の拡充 〔高等学校等奨学金特別会計〕	○ICT機器の購入に係る給付制度 経済的に困難な家庭（非課税世帯）の生徒に対して，生徒1人1台のPC端末の購入費用等の給付を実施	164,500
合 計		324,712

【再掲】「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト

内 容		要求額
乳幼児期の教育・保育，家庭教育の充実	○教育・保育内容及び教員・保育士等の研修の充実等 ○幼保小連携・接続の推進 ○親等の学習機会の充実 ○地域による親子支援の推進 ○乳幼児教育支援センターの体制整備	68,707

成果目標

- ワーク目標：不登校児童生徒への支援の結果，好ましい変化が見られた児童生徒の割合（公立小・中学校）
（R1実績）46.4% （R3目標）52.1%
- 事業目標：スクールソーシャルワーカーによる支援の結果，状況が好転した割合
（R1実績）57.3% （R3目標）58.0%

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰越金	諸収入	県債	一般財源
査定額	一般会計	160,212	55,949	0	0	0	0	0	104,263
	特別会計	164,500	0	0	0	164,500	0	0	0
要求額	一般会計	160,212	55,949	0	0	0	0	0	104,263
	特別会計	164,500	0	0	0	164,500	0	0	0
前年度当初予算額	一般会計	188,059	62,952	0	0	0	0	0	125,107
	特別会計	59,500	0	0	0	59,500	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：教育費	項：教育総務費	目：教育指導費
	款：教育費	項：高等学校費	目：高等学校管理費
担当課	学校経営戦略推進課，施設課		
事業名	「学びの变革」牽引プロジェクト（一部国庫）		

目的

「学びの变革」を先導的に実践する全寮制中高一貫教育校（広島観智学園中学校・高等学校）を開校するとともに、そのノウハウを全県的に共有することにより、広島県全体の「学びの变革」を早期に実現する。

事業説明

対象者

小・中・高の児童生徒，保護者及び教職員等

事業内容

		(単位：千円)
	内 容	要求額
ソフト面の体制整備	○教育カリキュラムの運用に向けた取組 ・IB取得等に向けた専門家との連携 ・具体的な授業案等の開発・実践及び改善等 ・授業実施に向けた教員の資質向上（各種研修参加等） ○教職員の採用・育成に向けた取組 ・日本人教員の長期派遣研修の実施 ・外国人教員など専門人材の確保・雇用条件の整備 ○生徒募集に向けた取組 ・学校案内，説明動画等の作成 ・オープンスクール及び学習体験会等の実施 ・入学者選抜等の実施	49,763
学校運営費	○学校運営に係る経費 ・備品等整備費 ・光熱水費，施設維持管理費，食堂厨房運営費等	180,118
施設等整備	○学校施設の建設工事 ○外構等の整備工事	479,884
合 計		709,765

成果目標

- 事業目標
 - ・「学びの变革」を牽引する教育モデルの確立
 (R2実績) 教育モデルの実践・改善 (中1~2カリキュラム)
 (R3目標) 教育モデルの実践・改善 (中1~3カリキュラム)
 (R6目標) 教育モデルの確立

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	709,765	46,206	0	0	0	0	0	424,600	238,959
要求額	709,765	46,206	0	0	0	0	0	424,600	238,959
前年度当初予算額	(債務405,093) 517,274	46,833 20,070	0	0	0	0	0	284,600 222,800	73,660 274,404

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費
担当課	特別支援教育課
事業名	特別支援教育ビジョン推進事業（一部国庫）

目的

特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育ビジョンに基づく施策を実施する。

事業説明

対象者

特別支援学校等の幼児児童生徒及び教員

事業内容

内 容		(単位：千円) 要求額
特別支援教育体制整備	○教育相談主任及び特別支援教育コーディネーターによる幼稚園、保育所、小・中・高等学校等に対する支援等を実施	1,283
教員の専門性向上	○免許法認定講習の実施	2,232
就職支援プロジェクト	○技能検定の企画・実施 ○実施分野：5分野 (清掃、接客、ワープロ、流通・物流、食品加工) ○就職サポート隊（支援・協力企業）の募集 ○ジョブサポートティーチャーの配置 (12人16校[市立特支を除く])	3,480
医療的ケア実施体制の整備	○看護師研修、医療的ケア研修会の実施 ○校外教育活動への看護師等同行、指導医による指導等	3,503
教育環境の充実・整備	○廿日市特別支援学校の教室不足を解消するため、廿日市西高等学校の余裕教室を活用した整備に係る設計業務委託等を実施	15,714
特別支援教育指導委員会	○広島県特別支援教育指導委員会の開催	367
合 計		26,579

成果目標

- ワーク目標：個別の教育支援計画作成率
(R1実績) 幼稚園：92.2%，小学校：89.1%，中学校：85.6%，高等学校：92.3%
(R3目標) 幼稚園：98.5%，小学校：92.5%，中学校：92.5%，高等学校：98.5%
(R7目標) 幼稚園：100%，小学校：100%，中学校：100%，高等学校：100%
- 事業目標：個別の指導計画作成率
(R1実績) 幼稚園：92.7%，小学校：97.6%，中学校：91.8%，高等学校：94.3%
(R3目標) 幼稚園：99.8%，小学校：97.0%，中学校：97.0%，高等学校：93.0%

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	26,579	596	0	0	0	0	290	11,500	14,193
要求額	26,579	596	0	0	0	0	290	11,500	14,193
前年度当初予算額	12,549	2,506	0	0	0	0	389	0	9,654

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：教育費 款：教育費 款：教育費	項：教育総務費 項：高等学校費 項：特別支援学校費	目：教育指導費 目：高等学校管理費 目：特別支援学校費
担当課	施設課， 学校経営戦略推進課， 学校教育情報化推進課		
事業名	県立学校施設設備整備事業（一部国庫）		

目的

児童・生徒等の学習や生活の場であり，非常災害時には地域住民の避難所等としての役割も果たす学校施設の老朽化対策（長寿命化改修等）や，防災機能の強化，「学びの变革」を推進する施設設備の整備などを進めるとともに，情報教育推進のための設備整備を進めることにより，安全・安心で質の高い教育環境の整備を計画的かつ着実に進める。

事業説明

対象者

県立の中学校，高等学校及び特別支援学校の児童・生徒等

事業内容

内 容		要求額
学校改修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校舎等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内外部改修工事 ～ 14校 ・ 給水設備等改修工事 ～ 1校 等 ○ 屋外運動場整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンド改修工事 ～ 2校 等 ○ 防球ネット等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防球ネット等改修工事 ～ 4校 等 	(債務1,519,960) 1,944,989
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 屋上防水工事 ～ 13校 ○ 建物法定点検 ～ 34校 ○ 維持修繕（土砂災害対応安全対策を含む。） 設備整備，維持管理 等 	(債務204,619) 1,321,875
空調設備維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年度に新規整備した空調設備及び保護者負担により設置された空調設備の維持管理費用等 【教育振興基金充当】 	528,027
情報化教育推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報教室の生徒用PC等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒用PC賃貸借 ○ Heiwa ネット運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク拠点機器，回線，維持経費 等 	614,240
県立高等学校再編整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教室改修，備品等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 庄原格致高等学校，吉田高等学校， 呉工業高等学校（定時制），沼南高等学校 	14,048
合 計		(債務1,724,579) 4,423,179

成果目標

○ 事業目標 安全・安心で質の高い教育環境の確保

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	(債務1,724,579) 4,423,179	5,093	0	0	0	30,300	849	1,503,700 2,485,100	220,879 1,901,837
要求額	(債務1,724,579) 4,423,179	5,093	0	0	0	30,300	849	1,503,700 2,485,100	220,879 1,901,837
前年度当初予算額	(債務1,683,258) 4,121,641	108,330	0	0	0	58,499	1,469	1,480,100 2,389,600	203,158 1,563,743

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：教育費	項：保健体育費	目：体育振興費
担当課	豊かな心と身体育成課		
事業名	オリンピック・パラリンピック教育推進事業（国庫）		

目的

学校でオリンピック・パラリンピック教育を実施することで、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進し、児童生徒のスポーツに対する学びを深める。

事業説明

対象者

県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童生徒

事業内容

		(単位：千円)
内 容		要求額
広島県コンソーシアム推進校事業	○オリンピック・パラリンピアン派遣（40校程度） 県内小・中・高・特別支援学校から推進校を指定し、オリンピック・パラリンピアンによる出張授業を実施 ○モデル授業の開発等 推進校の取組を基に、大学と連携して開発した教材やモデル授業等を各学校で活用	5,055
オリ・パラ教育推進セミナー・ワークショップ事業	○オリ・パラ教育推進セミナー 県内小・中・高・特別支援学校の教職員を対象に、先進的な指導方法についてのセミナーを実施 ○広島県コンソーシアム推進校ワークショップ 推進校での実践を共有し、指導改善を推進するための情報交換会を開催	465
合 計		5,520

成果目標

- 事業目標
 - ・オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進
 - ・児童生徒のスポーツに対する深い理解

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	5,520	5,520	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,520	5,520	0	0	0	0	0	0	0
前年度当初予算額	5,751	5,751	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費
担当課	高校教育指導課
事業名	異文化間協働活動推進事業（一部国庫）

目的

全ての小・中・高等学校において異文化間協働活動が活発に行われ、児童生徒のグローバル・マインドや実践的なコミュニケーション能力を育成するために必要な教育環境を整備する。

事業説明

対象者

小・中・高の児童生徒及び教職員

事業内容

内 容		(単位：千円) 要求額
異文化間協働活動の推進 ※コロナ禍の状況を踏まえて実施	○高校段階での留学促進 ・2週間以上の姉妹校留学を行う学校への継続支援 ・県内高校生向け短期留学プログラムの運用改善・広報 ・国制度等を活用した留学経費の支援 ・ひろしま留学フォーラムの開催 ・異文化間協働活動支援員の配置による派遣・受入支援	41,149
	○国内異文化間協働活動の推進 ・小・中・高で連携した姉妹校受入の支援 ・異文化間協働活動プログラムの実施 ・オンラインを活用した姉妹校交流等支援	7,400
	○小・中・高の系統的な異文化間協働活動の促進 ・海外教育行政機関と連携した共同プロジェクトの実施 ～広島版受入モデルの開発・展開（オーストラリア、台湾、ハワイから生徒・教員を受入・交流する仕組みの構築）	5,647
合 計		54,196

成果目標

- ワーク目標：外国人との積極的コミュニケーションが大切だと考える生徒の割合
(R1実績) 68.1% (R3目標) 69.5%以上
- 事業目標：高等学校段階での留学経験者数
(R1実績) 247人 (R3目標) 200人

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	54,196	10,200	0	0	0	0	851	0	43,145
要求額	54,196	10,200	0	0	0	0	851	0	43,145
前年度当初予算額	57,463	10,200	0	0	0	0	793	0	46,470

査定結果

要求どおり

令和2年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：社会教育費 目：文化財保護費
担当課	文化財課
事業名	文化財保存事業費補助金（一部国庫）

目的

文化財の保存・活用を図るため、所有者等が実施する防火設備の更新等に係る経費の一部を助成する。

事業説明

対象者

文化財所有者

事業内容

文部科学省の令和2年度第3次補正予算案の中に示された国宝等の防火・防災対策事業のうち、所有者が実施する防火設備の更新等に係る経費の一部を補助する。

(単位：千円)

内 容		2月補正 要求額
文化財保存事業	国指定・国選定・県指定に係る文化財の保存修理に要する経費の一部を助成する。 【対象施設】 国宝明王院本堂及び五重塔（福山市） 【保存修理の内容】 自動火災報知機，避雷針，消火設備の更新等 【補助率】 国：85%（所有者に対し直接補助） 県：5% 市町：5% 所有者：5%	2,643

成果目標

○ 事業目標：文化財の適切な保護

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	2,643	0	0	0	0	0	0	0	2,643
要求額	2,643	0	0	0	0	0	0	0	2,643
現計予算額	143,504	1,098	0	0	0	0	0	0	142,406

査定結果

要求どおり